

「水遊び」

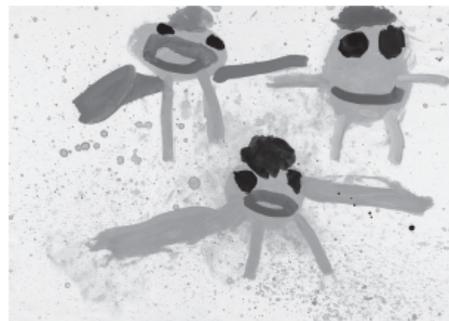
豊川 武寛（とよかわ たけひろ） 3歳

本願寺中央幼稚園（京都教区）

画面に広がる水色のしぶき、そこに生き生きと遊ぶ3人の子供が描かれています。「僕の中には○○君がいて、ジャンプしたからお水が顔にかかったんだよ」と嬉しそうにお話ししてくれたそうです。人物は3歳頃の絵によく見られる頭足人ですが、決して顔だけを描いているのではなく、顔と身体をシンボルとして、その人のすべてを表しているのです。

よく見ると、手足に緑やオレンジ色の絵の具を重ねて描いているのがわかります。これは水着なのです。お友だちと水着の色についてお話ししながら、胴体が無い頭足人なので、手足に着せてあげるように工夫したのです。先生は、絵の具は筆で描くものという概念を離れ、楽しく遊びながら表現して欲しいと願ったそうです。まず始めに絵の具を水に見立てて手にとつて、画面にまき散らす遊びから始めたそうです。そうすることで、単に絵を描くだけでなく、もう一度、想像の世界の中で、お友だちと楽しく水遊びをすることができたのです。

●表紙のことは●



おおはし いさお
大橋 功

和歌山信愛大学